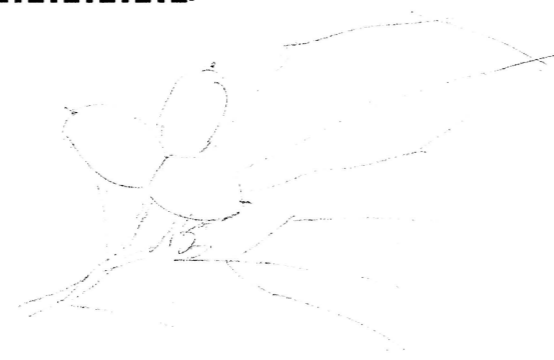


秋の植物画教室 1

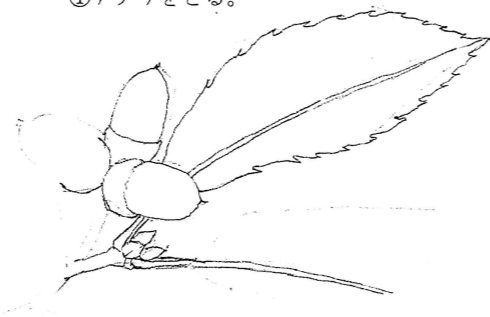
鉛筆スケッチ

はじめは一輪の花、一枚の葉っぱから。正確に描くには、植物学的な知識も必要です。虫食いや、変形したものを避け、形の整ったものを選びましょう。

- ① モチーフの中心を決め、おおざっぱな骨格を決めます。鉛筆はBを使用。
- ② 中心からの距離をディバイダーで測り、だいたいの大きさを決めます。
- ③ 大まかな形を薄く描きます。
- ④ 全体の形がかけたら、紙を一度遠くにはなして、バランスを確かめましょう。
- ⑤ 練りゴムで軽く下書き線を消します。
- ⑥ Hの鉛筆で細部に至るまで、ていねいにもう一度下書きをなぞります。
- ⑦ いらぬ線はすべて消しゴムで消して出来上がり。



①アタリをとる。



②おおまかの形をレイアウトする。

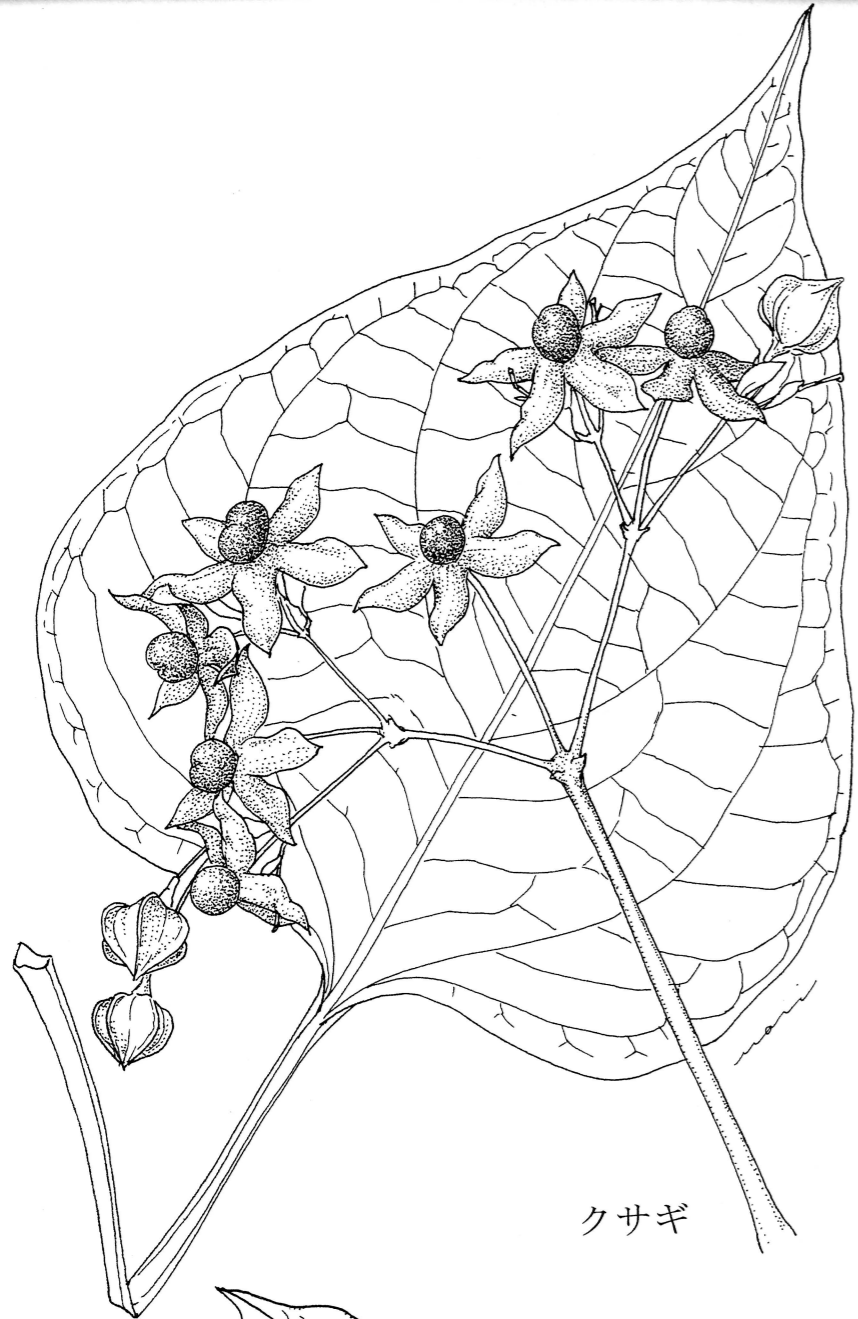


コナラ



ノブドウ

- * 下書きが汚れてしまった時は、輪郭線だけをトレースして、別の紙に描き直します。
- * 見本は白黒のペン画です。水彩絵の具で彩色する場合は、明暗を表す点々は描く必要がありません。影をつける位置の参考にして下さい。

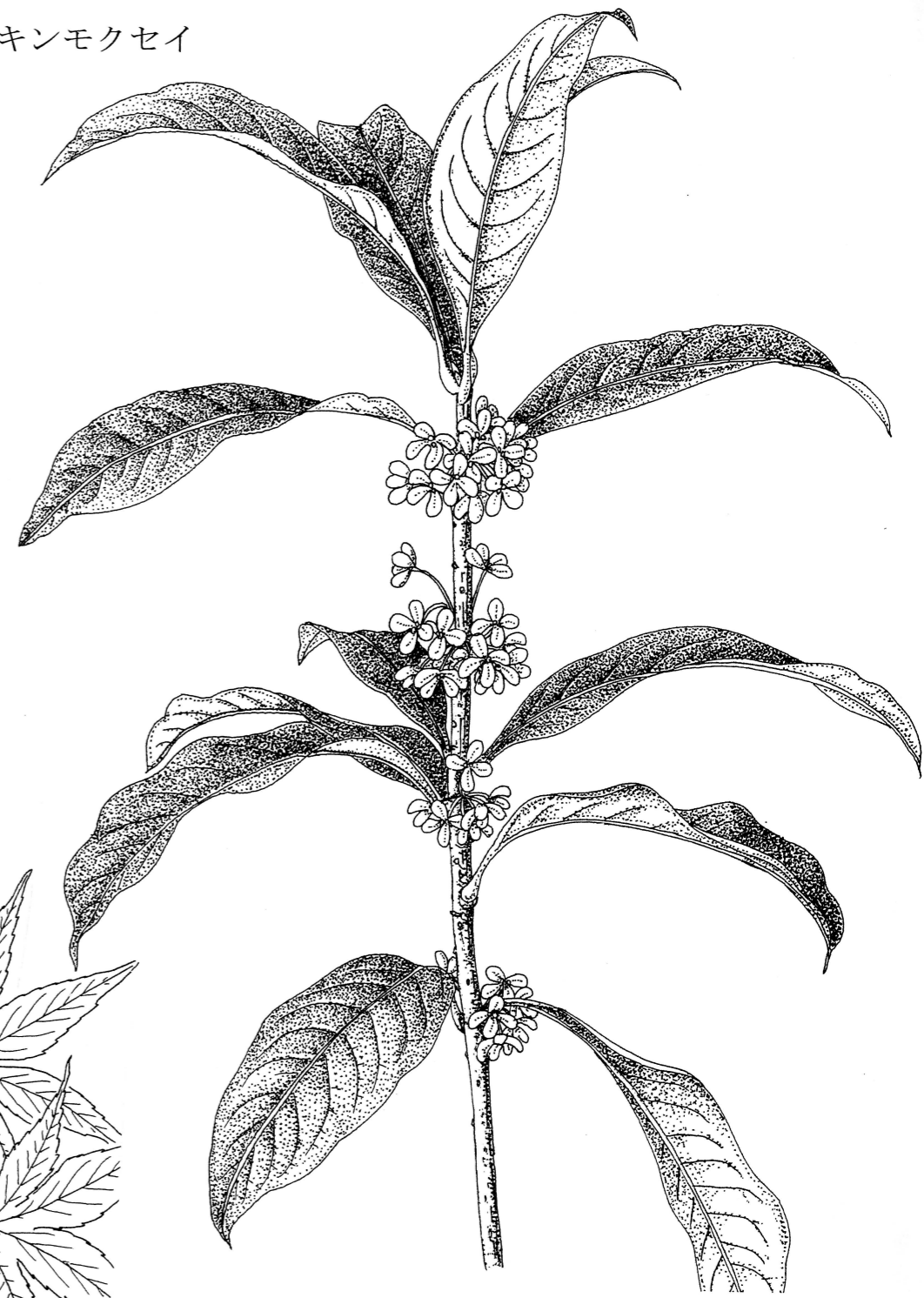


クサギ



ナンテン

キンモクセイ



アラカシ



タカオモミジ

構図を作るときは、もともとその木や草が生えていたときの状態に近いものにします。採集する前に、どんな方向に生えていたかをチェックしておきましょう。大きすぎて紙に入りきらないときは、葉と実を分けて組み合わせます。